



Kumamoto City

News Release

令和8年（2026年）4月13日

「熊本明治震災日記奇談語り」の実施について

令和8年（2026年）は、平成28年熊本地震が発生して10年になります。本市の貴重な文化財や記念館も多大な被害を受けました。記念館の復旧は地震直後から進め、その状況は令和7年3月に熊本市記念館熊本地震復旧記録集『re:birth』にまとめました。

今回は記念館の被害や復旧の様子を改めて思い起こすとともに、明治22年に起こった明治熊本地震も風化させることなく将来への教訓として継承していくため、下記の事業を実施します。

1. 特別企画 平成28年熊本地震から10年

『熊本明治震災日記』奇談語り～地震のあつと傘屋んもうかる！？～

①開催日時 令和8年（2026年）4月19日（日）13時30分～15時00分

②場 所 熊本洋学校教師ジェーンズ邸（中央区水前寺公園12-10）連絡先：382-6076

③内 容 第一部：熊本市記念館の地震被害からの復興について

解 説：文化財課職員

第二部：『熊本明治震災日記』奇談語り

語 り：寿咲 亜似

箏演奏：藤川 いずみ

原 作：植木 英貴

2. そのほか詳細（市HP）⇒[熊本市の記念館・資料館イベント情報](#)

3. 取材に関する留意点

○事業の取材等には館長および職員が対応いたします。

○プライバシーに配慮した取材・撮影にご協力ください。

○記念館には駐車場がございません。公共交通機関か近隣の有料駐車場を御利用ください。

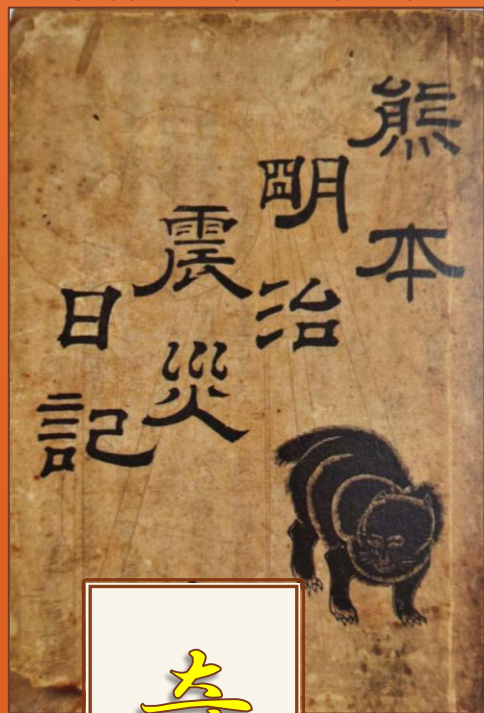
【お問い合わせ先】

文化財課：328-2740

課 長：福居 浩一（ふくい こういち） 担 当：西村 沙保里（にしむら さほり）

～特別企画 平成28年熊本地震から10年～

熊本明治震災日記・水島貫之著



地震のあつと傘屋ももうかる!?

奇談語り

原作・植木英貴

飽託郡高橋町字端家屋崩壊之圖

日時：令和8年(2026年)4月19日(日)

13:30～15:00

場所：熊本洋学校教師ジェーンズ邸

観覧料：無料（別途入館料が必要）

備考：事前申し込みは不要です

※専用駐車場はございませんので近隣の民間有料駐車場、
もしくは公共交通機関をご利用ください。

(※身障者用駐車場の利用をご希望の方は事前に御連絡ください)



すさき あい
語り：寿咲 亜似

明治熊本地震について

明治熊本地震は今から137年前、明治22年に熊本で発生し、大きな被害をもたらしました。震源は金峰山の東側とされ、現在の震度では震度6弱、また震度6強だったと言われています。被害も大きく、当時の震災被害記録には熊本市と近隣の飽田郡や託麻郡など8郡を合わせ死者21人、負傷者も59人とあり、家の全壊、半壊も極めて多く、橋梁の損壊なども多数発生しました。

当時の熊本市は人口4万3千人でしたが、この地震で様々な流言浮言が流れ、多くの市民がそれに翻弄され、街は混乱をきたしていきました。

「平成28年熊本地震」から10年。大地震の記憶を風化させないためにも、今回は第一部で「平成28年熊本地震」による熊本市記念館の被害と復興状況を、そして第二部で水島貫之の著した『熊本明治震災日記』に残る奇談の物語を寿咲亜似さんに語っていただきます。

「平成28年熊本地震」本震直後の倒壊したジェーンズ邸



語り:寿咲亜似

「肥後の歴史物語と民話の会」、
「語り座」代表 語り師、司会者。
熊本弁による民話と標準語による
熊本の歴史上の人物を主人公にし
た物語を創作し、語っている。

箏:藤川いずみ

箏ソリストとして国内
外で演奏。
くまもと邦楽会館代表



〈内 容〉

第一部：熊本市記念館の地震被害からの復興について

第二部：『熊本明治震災日記』奇談語り

語り：寿咲 亜似（すさき あい）

箏演奏：藤川 いずみ

原作：植木 英貴

熊本洋学校教師ジェーンズ邸

熊本市中央区水前寺公園12-10

TEL 096-382-6076

開館時間 9:30~16:30

休館日 月曜日(祝日は翌日)

